

平成 30 年度 学校関係者評価報告書



学校法人 本山学園

西日本調理製菓専門学校

学校関係者評価委員会

平成 30 年 12 月 28 日

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 本山学園
西日本調理製菓専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人本山学園 西日本調理製菓専門学校 学校関係者評価委員会は、平成 29 年度自己点検・評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

1. 実施日：平成 30 年 10 月 11 日（木）16:00~17:30

2. 場 所：学校法人本山学園 3F 会議室

3. 学校関係者評価委員

桑村 琢 （株式会社 JTB 中国四国 岡山支店支店長）

森本 昌弘 （株式会社ホテルグランヴィア岡山）

湯浅 信夫 （ユアサ工機株式会社 社長）

藤森 和政 （岡山プラザホテル株式会社）

鈴木 英師郎（日生鮮魚有限会社 取締役）

大賀 拓郎 （渋川ガブーロ 浜茶屋）

<内部委員>

早野 充 （西日本調理製菓専門学校 学校長）

長石 誠 （西日本調理製菓専門学校 教務主任）

4. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、平成29年度に実施した「自己点検評価」を学校関係者評価委員の皆様にご確認いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価を取りまとめました。

評価結果は、今後の本校における教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表いたします。

5. 学校関係者評価・意見

評価項目に対する学校関係者の評価及び意見、提案（以下、評価等という）をご報告いたします。

評価	5.完璧	4.かなり進んでいる	3.普通	2.やや足りない	1.ほとんど進んでいない	NA.当てはまらない
----	------	------------	------	----------	--------------	------------

基準1. 教育理念・目的・育成人材像等

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5	5
②	学校における教育の特色はなにか	5	5
③	学校の将来構想を抱いているか	5	5
④	学校の理念・目的・育成人物像などが学生・保護者等に周知されているか	5	5

理念・目的・育成人物像は明確に定められている。学校の特色もしっかり打ち出されており、外部にも周知されている。学校独自としてだけでなく学園の将来構想もあり、10年後も進化し続ける学園だと考えられる。

基準2. 学校運営

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	目的等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	5	5
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	5	5
④	人事、給与に関する規則等は整備されているか	5	5
⑤	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	5	5
⑥	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5	5
⑦	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5	5

学校運営は適正に行われている。情報システム化におけるリスクを考慮し、効率化よりも安全性を重視している点は評価できる。学校運営は適正に行われている。

基準3. 教育活動

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5	5
②	教育理念、養成人材像や業界のニーズに照らして、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5	5
③	学科等のカリキュラムは関連分野のニーズに照らして体系的に編成されているか	5	5
④	関連分野の医療施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	5	5
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	5	5
⑦	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5	5
⑧	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5	5
⑨	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	5
⑩	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか	5	5
⑪	教員の能力開発のための研修等が行われているか	5	5

教育活動は適正に行われている。教育課程編成委員会での意見を参考にし、業界の人材ニーズに照らしたカリキュラム編成を行うことで実践的な専門職業人の育成につながっている。教員研修も積極的に行い、教員の指導力も向上が図られている。

基準4. 教育成果

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	就職率の向上が図られているか	5	5
②	資格取得率の向上が図られているか	4	4.2
③	退学率の低減が図られているか	5	4.8
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5	5.0

就職率の向上ならびに退学率の低減が図られたことは大変評価できる。ただし、岡山県の製菓衛生師国家試験の難易度が高く、国家試験対策を行ったにも関わらず昨年よりも合格率が低下したことに対し、次年度は他県での受験や試験対策の見直しを図り、合格率向上を課題として取り組んで貰いたい。卒業生・在校生の社会的な活躍や評価を把握する上で、同窓会を上手く活用することを検討した方が良い。

基準5. 学生支援

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	進路・就職に関する体制は整備されているか	5	5
②	学生相談に関する体制は整備されているか	5	5
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	5	5
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5	5
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	5	5
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	5	5
⑦	保護者と適切に連携しているか	5	5
⑧	卒業生への支援体制はあるか	5	5

学生への就学・経済支援は整備されている。学生相談窓口も姉妹校に設置され、今後学校での設置が検討されている。卒業生への支援体制が同窓会中心となっている。

基準6. 教育環境

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	5
②	学外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	5	5
③	防災に対する体制は整備されているか	5	5
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	5	5

施設・設備は厚生労働省の規定を大幅に上回り、十分な設備が整っている。インターンシップ研修についても十分な教育体制を整備している。防災は備蓄を行い、使用法を確認するなど更に体制が整備されている。

基準7. 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	5	5
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5	4.8
③	学納金は妥当なものとなっているか	5	5

学生募集と受け入れは適切に行われている。

基準 8. 財務

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	5
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5	5
③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	5
④	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5

財務は健全であり、安定している。

基準 9. 法令等の遵守

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5	5
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	5
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5	5
④	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	5	5

法令等は遵守されている。

基準 10. 社会貢献

点検項目		自己評価	学校関係者 評価
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5	5
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5	5
③	地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	5	5

地域の祭りなどイベントへの参加、学園祭の開催、岡山マラソンへのボランティア参加、中学・高校への出前講座など積極的に社会貢献を行っている。

基準 1 1. 国際交流

	点検項目	評価結果	学校関係者 評価
①	留学生・研修生の受入れ・派遣について行う体制があるか	5	5

平成 29 年度は留学生を 5 名受け入れていた。受け入れ体制並びに海外研修への派遣体制は整備されている。

総評

上記 1 1 項目に対し、委員による評価の平均値は 4.9 (5 段階評価) であった。昨年と比較してポイントは維持していることから、改善努力の結果が現れている。依って、西日本調理製菓専門学校の教育活動、学校運営は適切に行われ、高い水準で維持されている。

現場のニーズを重視したカリキュラム編成や校外実習など、学生の実践力向上に対する、取組、施設・設備については規定を大幅に上回って整備されているなど、教育の質についても高く評価できる。

さらに社会貢献の面でも行政や地域に協力しており、期待もされている。卒業生からは、「教育成果が表れ、業界の評判も上がっている」という意見もあり、その事も今回の高い評価結果となったと考えられる。ただし、卒業生の社会的な活躍及び評価の把握、卒業生への支援体制強化の 2 点を今後の課題として取り組んでいただきたい。

全体を通して高い評価だが、これに慢心することがなく、よりよい教育を推進していただくことを期待する。

学校関係者評価委員会委員長 藤森 和政